



開校60周年記念 (平成12年)



ふれあい給食

には五十周年、平成十二年には六十周年の記念行事が行われました。

(2) 開かれた学校

これからの学校は今までよりも保護者や地域の方々の協力を得て、子どもたちのために様々な教育を行っていかねばなりません。

まず学校のいろいろな活動を理解してもらえ

すばらしい施設・校舎の中で、区内の三年生以上の小学生が親元から離れ、体をきたえながら学習に取り組んできました。不動小学校の四年生は、興津・鴨川移動教室に行ったとき、この健康学園の子どもたちと毎年交流をしてきました。

しかし、平成二十一年二月に健康学園は閉園となりました。そして、平成二十二年八月四日に落成式が行われ、四年生と六年生の自然宿泊体験教室の施設として、「興津自然学園」の名で生まれ変わりました。

Ⅲ わたしたちの不動小学校

七十周年の歩みの中で、不動小学校は、子どもたちとともに発展してきました。

るように、運動会や学芸会、展示会のほかに、集会活動や学年活動、全日授業参観などを設けて参観の機会を増やしてきました。また、参観だけではなく先生たちといっしょに授業を行うこともあります。

地域のお年寄りやふどう幼稚園、不動保育園の幼児たちといっしょに給食を食べ、交流を深めることもしています。

学校から外に出て、活動をすることも多くなりました。幼稚園や中学校との交流や、六年生の鼓笛隊が地域で交通安全パレードを行うなど、地域社会との交流の場を作っています。

(3) 興津健康学園

昭和六十二年に不動小学校の併設学級として、美しい海と山に囲まれた千葉県勝浦市興津に建てられました。

(1) 人とのかかわりを大切に

生きる力をぐくむ授業を目指して

不動小学校では、ITの授業や少人数指導の授業を行い、一人一人の学力を高めるとともに、友達の意見に耳を傾け、自分の意見を伝えることを大切にしています。

平成二十二年度から「科学的に考え、理科の眼をもつ児童の育成」というテーマで研究を進めています。

自分のまわりの出来事から、「不思議だな。」「どうしてだろう。」「調べてみたいな。」「そして、「調べてみよう。」「という理科の眼をもつ子どもにしたい。そして、自分で調べる方法を考えたり、今までに習ったことを生かして比べたりするような科学的に考えられる子どもを目指して授業